

種類別明細書（増加資産用）の記入例

本市の種類別明細書を使用しない場合は、本市の種類別明細書に印字してあります「所有者コード」を記入してください。

- ◎ この種類別明細書には、令和7年1月2日から令和8年1月1日までに取得した資産、及び売却・滅失・移動等により減少した資産がある場合、又は印字内容に変更がある場合に記入してください。
 - ◎ 初めて申告される方は、令和8年1月1日現在所有している資産を記入してください。
 - ◎ 種類別明細書（全資産用・プレ申告用）については提出不要です。

【異動区分】
1 増加
2 減少
3 訂正

【資産の名称等】
資産の名称・規格等を
具体的に記入してく
ださい。21字以上に
なるものは簡略して
20字以内で記入して
ください。

令和7年中に増減した資産を記入してください。
※令和7年より前に取得し、今まで申告していない資産がある場合は、併せて記入してください。

【資産の種類】

1…構築物・建物附属設備	4…航空機
2…機械及び装置	5…車両及び運搬具
3…船舶	6…工具・器具及び備品

※ 文字は漢字・ひらがなも使用できます。

※ 電算処理用のデータとしますので、枠の中に丁寧にご記入ください。
※ 打出し内容に誤りがある場合には該当箇所を訂正してください。

【取得年月（年号）】
3……昭和
4……平成
5……令和

【取得価額】

資産を取得するために要した費用を記入してください。
消費税の取り扱いは、法人税または所得税の会計処理において、税抜経理方式を採用している場合は消費税を含まない金額となり、税込経理方式を採用している場合は消費税を含んだ金額を記入してください。
圧縮記帳は地方税法上認められませんので圧縮前の取得価額を記入してください。

【耐用年数】

「減価償却資産の耐用年数に関する省令」別表第1から第6（別表第3及び第4を除く）に掲げる耐用年数を記入してください。

【増減事由】

- 1 新品取得
- 2 中古品取得
- 3 売却
- 4 減失
- 5 移動
- 6 その他

【摘要】欄に記入する事項
「異動区分」が2減少の場合、「取得価額」の欄に減少後の「取得価額」((例)全部減少の場合は「0」が入ります)を、「摘要」の欄に減少前の「取得価額」をご記載ください。